

2018.5 発行

ティーンズ・ブックガイド

ヨムヨム 本の扉

ティーンズコーナーでも
中高生向けのさまざまな
企画展示をしています。



どんな本を選べばいいのか
迷っているというときに、
使ってみてください。
心に響く本を選びました。

* 記載の資料は全て岡山県立図書館にあります。

岡山県立図書館 人文科学班・児童資料班
〒700-0823 岡山県岡山市北区丸の内 2-6-30
TEL 086-224-1288 (総合カウンター直通)
086-224-1286 (事務室)
FAX 086-224-1208
ホームページ <http://www.libnet.pref.okayama.jp/>

知る

授業だけではわからない
世の中で知っておきたいこと。
ノンフィクションも含めて
紹介します。

大学生がカレーライスを一から作ることにチャレンジします。野菜、スパイス、肉、米、塩、器もスプーンもすべて。9か月もかけて作ったカレーを食べた学生たちが、それぞれ気づいたことはどんなことだったのでしょうか。同名の映画もありますので、機会があれば映像も見てみてください。



『カレーライスを一から作る』
前田亜紀/著 ポプラ社 2017年



『虹色のチョーク』
小松成美/著 幻冬舎 2017年

ダストレスチョークやキットパスという筆記具を製造している日本理化学工業は、社員の7割が障がい者といえます。経営者と、製造ラインで働く知的障がいをもつ社員とその家族への取材を通して、人間の本质について考えさせられます。働く幸せを実現した町工場の奇跡のノンフィクションです。

ほかにも…

- 『ちいさなちいさなベビー服』 八東澄子 新日本出版 2015年
- 『空から宝ものが降ってきた!』 伊藤親臣 旬報社 2016年
- 『紙つなげ! 彼らが本の表紙を造っている』 佐々涼子 早川書房 2014年
- 『ぼくらの民主主義なんだぜ』 高橋源一郎 朝日新聞出版 2015年
- 『国境のない生き方』 ヤマザキマリ 小学館 2015年
- 『車夫』 いたうみく 小峰書店 2015年
- 『宇宙を仕事にしよう!』 村沢謙 河出書房新社 2016年
- 『学校が教えないほんとうの政治の話』 斎藤美奈子 筑摩書房 2016年
- 『モンスーンの贈りもの』 ミタリ・パーキンス 鈴木出版 2016年
- 『特別授業 3.11 君たちはどう生きるか』 あさのあつこ・他 河出書房新社 2013年

生きる

生きるってどういうこと? 将来への期待と不安が入り交じる10代。さまざまな生き方を描いた作品を紹介します。



『夜間中学へようこそ』
山本悦子/著 岩崎書店 2016年

10歳のジョージは体は男の子だけど心は女の子というトランスジェンダーです。トランスジェンダーの子どもの気持ちを、家族や親友が受け入れていく様子を、あたたかくユーモアを交えて描いています。著者もトランスジェンダーです。多くの人に読んでほしい一冊です。



『ジョージと秘密のメリッサ』
アレックス・ジーノ/作 島村浩子/訳 偕成社 2016年

ほかにも…

- 『Q→A』 草野たき 講談社 2016年
- 『クラスメイツ (前期・後期)』 森絵都 偕成社 2014年
- 『こんとんじいちゃんの裏庭』 村上しいこ 小学館 2017年
- 『さよなら、スパイダーマン』 アナベル・ビッチャー 偕成社 2017年
- 『ジェリーフィッシュ・ノート』 アリ・ベンジャミン 講談社 2017年
- 『ナビラとマララ』 宮田律 講談社 2017年
- 『置かれた場所で咲きなさい』 渡辺和子 ポプラ社 2010年
- 『本を読むわたし』 華恵 筑摩書房 2011年
- 『サクラ咲く』 辻村深月 光文社 2012年
- 『いのちのパレード』 八東澄子 講談社 2015年
- 『小やぎのかんむり』 市川朔久子 講談社 2016年

ファン タジー

SF・冒険・ミステリー。
どきどきわくわくしてみませんか。
シリーズになっているものもあります。

祖父を亡くした林太郎の前に、突然現れたトラネコが言いました。「お前の力を借りたい。」しゃべるネコに導かれて向かった先には、歪んだ世界に囚われた人たちがいました。林太郎の武器は言葉だけ。林太郎は囚われた人を解放し、本を救うことができるのか。本をめぐる冒険ファンタジーです。



『本を守ろうとする猫の話』
夏川章介／著 小学館 2017年



『お面屋たまよし』
石川宏千花／著 平沢下戸／画
講談社 2012年

ほかにも…

『どろぼうの神さま』 コルネーリア・フンケ WAVE 出版 2002年
『NO. 6』 あさのあつこ 講談社 2003年
『ヤマダさんの庭』 岡田淳 B1出版 2004年
『凍りのくじら』 辻村深月 講談社 2005年
『チョコレート工場の秘密』 ロアルド・ダール 評論社 2005年
『放課後はミステリーとともに』 東川篤哉 実業之日本社 2011年
『完全なる首長竜の日』 乾緑郎 宝島社 2011年
『櫻子さんの足下には死体が埋まっている』 太田紫織 角川書店 2013年
『酒天童子』 竹下文子 偕成社 2015年
『怪獣の夏はかな星へ』 小路幸也 筑摩書房 2016年

ロング ヒット

長い物語は苦手でも、続きが
楽しみになる作品もあります。
読み継がれている本を紹介します。



『夜のピクニック』
恩田陸／著 新潮社 2004年

貴子の学校で毎年行われる“歩行祭”―「ただ歩く、それだけのことがどうしてこんなに特別なんだろう」友人の言葉と密かな決意を胸に高校最後の「歩行祭」に挑む貴子と、貴子を強く意識しながら一度も話したことがないクラスメイトの融が、自分と向き合い葛藤する姿を描いた青春小説です。

「せいたかささん」は、小学生のときに小さな空き地を見つけます。だれも知らない自分だけの場所。そこは、居心地がいいだけでなく、小人が住んでいるという言い伝えのある場所でした。これは、子どものときの秘密を守り続けてとうとう小人に出会った男の子の物語です。

ほかにも…

『星の王子さま』 サン＝テグジュペリ 岩波書店 1983年
『精霊の守り人』 上橋菜穂子 偕成社 1996年
『西の魔女が死んだ』 梨木香歩 新潮社 2001年
『しゃばけ』 轟中恵 新潮社 2001年
『デルトラ・クエスト 沈黙の森』 エミリー・ロッダ 岩崎書店 2002年
『都会のトム&ソーヤ』 はやみねかおる 講談社 2003年
『いのちのおはなし』 日野原重明 講談社 2007年
『ぼくらの七日間戦争』 宗田理 ポプラ 2007年
『よろこびの歌』 宮下奈都 実業之日本社 2009年
『君たちはどう生きるか』 吉野源三郎 ポプラ社 2011年

部活動

運動部、文化部、それぞれの物語。
ここで紹介するのは、共通の話題に
なってほしい本たちです。

美由は、中学時代に吹奏楽部を途中で退部後、高校では入部しないつもりでした。しかし、入学後に新しい友だちや先輩に出会って、美由の考え方も変わり、再び入部することになりました。吹奏楽を通して、成長していく美由に共感できる物語です。



『アレグロ・ラガッツァ』
あさのあつこ／著 朝日新聞出版局 2016年



『マイナス・ヒーロー』
落合由佳／著 講談社 2017年

中学2年生の凧人は、準優勝ばかりの羽野さんに頼まれて、バドミントン部のマネージャーをすることになってしまいました。凧人には、体が弱く思うようにプレイができなくて、バドミントンを諦めた過去がありました。凧人は、バドミントンにもう一度向き合うことができるのでしょうか。

ほかにも…

『一瞬の風になれ』 佐藤多佳子 講談社 2006年
『昆虫部』 椛本孝思 幻冬舎 2010年
『くちびるに歌を』 中田永一 小学館 2011年
『船に乗れ!』 藤谷治 ポプラ社 2011年
『向かい風で飛べ!』 乾ルカ 中央公論新社 2013年
『ダッシュ!』 村上しいこ 講談社 2014年
『ABC! 曙第二中学校放送部』 市川朔久子 講談社 2015年
『春や春』 森谷明子 光文社 2015年
『百年後、ぼくらはここにいないけど』 長江優子 講談社 2016年
『フラダン』 古内一絵 小峰書店 2016年